

## 令和元年度 第三回学校運営協議会 記録

日時： 令和2年2月8日（土）9:30～11:30

場所： 大阪府立布施北高等学校 校長室

出席者： 学校運営協議会委員5名、校長、教頭2名、事務長、首席2名、教諭2名

### 1 会長挨拶

近年多発する世界規模の自然災害が経済活動へ与える影響は計り知れない。予測困難な社会において、布施北高校が、さまざまな人と関わりながら協働できる、柔軟性を備えた人材の育成を担っていくことを期待する。

### 2 校長挨拶

### 3 令和2年度学校経営計画及び学校評価について（学校説明）

エンパワメントスクールの学びなおし教育に関して・人権教育に関して・デュアルシステムやインターシップに関して・支援を必要とする生徒の増加について・広報活動の拡充について・働き方改革について

### 4 令和元年度学校教育自己診断・総合学科卒業生アンケートの結果について（学校説明）

◇生徒…エンパワメントスクールの学び直し授業に関する満足度が高い。自己表現や他者理解等のコミュニケーション能力が向上。また、デュアル実習やインターシップ等将来の進路実現に関する評価が上昇。一方で学校の施設設備や進路実現に結び付く選択科目の開講についての評価が低かった。

◇保護者…学校や子どもへの関心が高まり、行事や授業の参観者増加を望む方が多くなっている。

◇教職員…職場の雰囲気は良い。他教科の先生方との交流をさらに深めたいとの気持ちがある。

### 5 委員からの意見聴取

- ・学校の頑張りもあり、エンパワメントスクールになってからの布施北高校の印象は「面倒見が良い学校」から、「学びが将来に繋がる学校」に変化している。目的意識をもって入学する真面目な生徒が増え、中退・遅刻・欠席者数ともに減少している。委員としてはとてもうれしい。
- ・外国にルーツのある生徒が多いことも特色の一つ。将来活躍する人材の育成にもさらに取り組んでほしい。
- ・生徒を型にはめるのではなく、変化する社会に対応できる人材やリーダーシップを発揮できる人材を育てることが重要。生きる力をどう育てるのが教育の大きな課題。活躍している卒業生をゲストティーチャーとして招く等夢を持たせる教育を。
- ・なるべく失敗せぬように、怒られぬように、波風を立てぬようにした方が生きやすい世の中。大学生や大人もエネルギーのある尖った人が減少している。大人が、元気のない若者をどんどん作りながら、元気をだせと言うダブルハインド状態。大人（先生）自身が、やんちゃになって、下降カーブの社会と一緒に支えるエネルギーギッシュな若者を育成してほしい。そのためには対話が大切。
- ・布施北高校ならではの学びや魅力をもっとアピールするために、地域に向けて会館等でエンパワメント・デュアル実習発表会を行う、渡日生の学校生活や学びをわかりやすくアピールする、東大阪市主催のイベントでクラブ発表を行う等の工夫がほしい。
- ・「デュアル実習意見交換会」は成果があった。来年以降は年2回程度に拡充してほしい。
- ・学校力に注目している。どんな生徒を育てるか、保護者の希望を教育にどう取り入れるか、地域とどのように連携していくか、熱のある教員をどう育成するか等々を、とても楽しみにしている。
- ・地域との連携は布施北高校の財産。小・中学校や地域との連携をすすめ、地域の資源を上手に活用してほしい。子どもにコミュニケーション能力、問題解決力、忍耐力をつけるため、一緒に頑張りたい。
- ・今年度はエンパワメントスクール生が3学年揃った完成期。今後は一緒にひと踏ん張りして次のステップへ。
- ・学校運営協議会の回数が年に3回と少ないため、自主勉強会を実施することを考えてほしい。

### 6 学校運営協議会による令和2年度学校経営計画の承認

### 7 文科省「地域と協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化）」申請に関する進捗状況報告